

防災分野のデータ流通促進のための調査検討業務

災害対応基本共有情報（EEI）第1版の 更新にむけた調査検討

令和7年3月10日

アウトプット

- ・災害対応基本共有情報（EEI）の更新案

検討手順（案）

- 災害対応基本共有情報（EEI）第1版の各情報項目（例：避難所）について、資料調査（例：関連システムの搭載項目）と関係機関への調査（アンケート、ヒアリング）等を行い、上記の整理をもとに、災害対応基本共有情報（EEI）の更新案（データ属性を包含したもの）を作成する。
- 更新案をもとに利用者への照会を行い、精緻化する。

Point

データ属性の整理を踏まえ、情報項目（細分）ごとに
①主に所管省庁と調整することが望ましいもの
②主に都道府県と調整することが望ましいもの
に分類し、それぞれヒアリング・照会先を決定する。

STEP1

資料調査により、各情報項目（細分）のデータ属性を仮説的に整理する。

STEP2

データ提供者たり得る省庁又は都道府県
に対し、必要なデータ属性、当該情報項
目（細分）の流通状況、システムでの流
通の可能性等を照会・ヒアリングする。

STEP3

関係省庁及び都道府県に対し、EEI第1版更新案（原案）に関する意見照会を行う。

アウト
プット

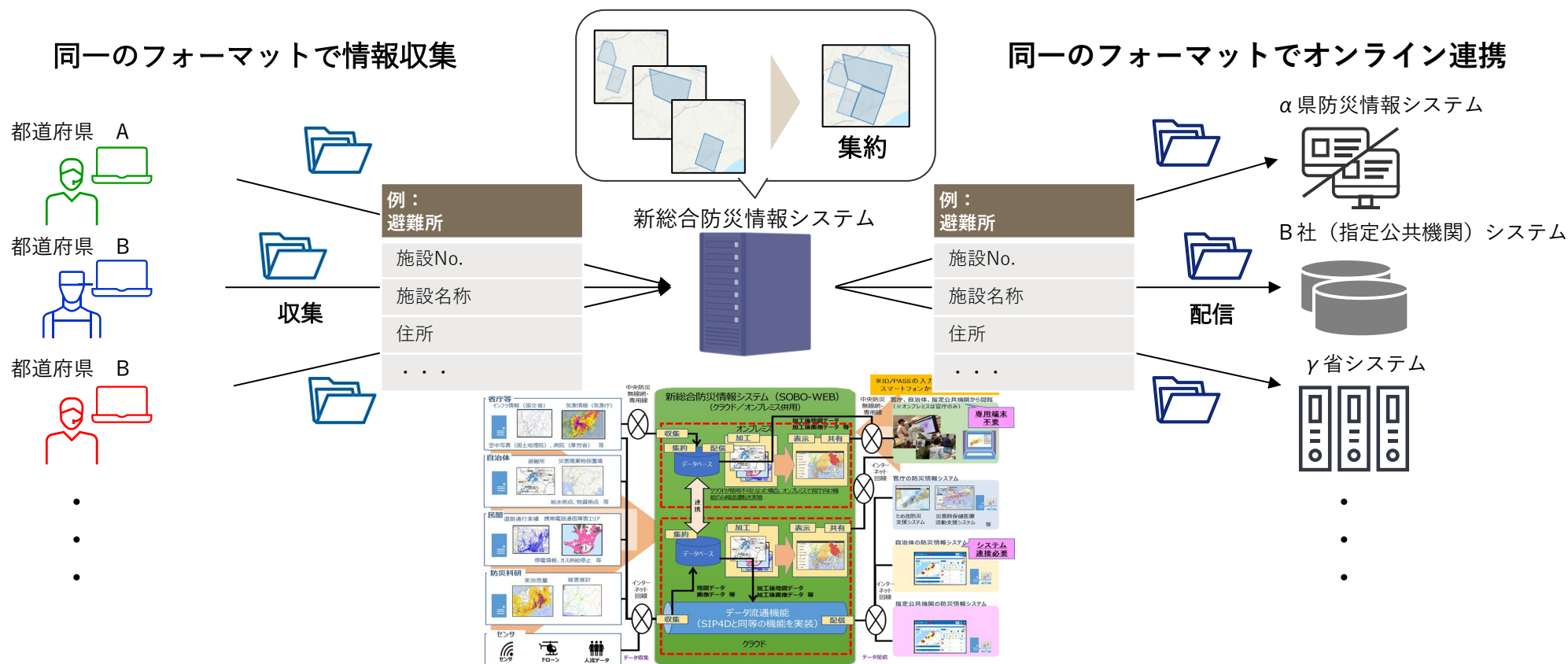
[illegible]

2. 今年度の検討内容

(1) 検討の概要 1/2

第1回WG検討会で提示

- 今年度、災害対応基本共有情報（EEI）第1版として整理した情報項目の細分（例：避難所）を対象に、災害対応機関間で共有することが有用なデータ属性（例：施設名称、住所）まで検討・整理する。これにより想定する効果は次の2つ。
 1. 収集・集約：複数の都道府県、同種の複数ライフライン事業者から、新総合防災情報システムで収集する情報項目のデータ属性が共通化されることにより、全国一律の情報収集・集約が可能となる。
 2. 配信：新総合防災情報システムがシステム連携により配信する情報項目のデータ属性が定義されることで、災害対応機関におけるデータ受信のためのシステム構築・改修が円滑化。



2. 今年度の検討内容

(1) 検討の概要 2/2

第1回WG検討会で提示

■ データ属性の整理は、実用性を勘案し、2つの区分で実施する。

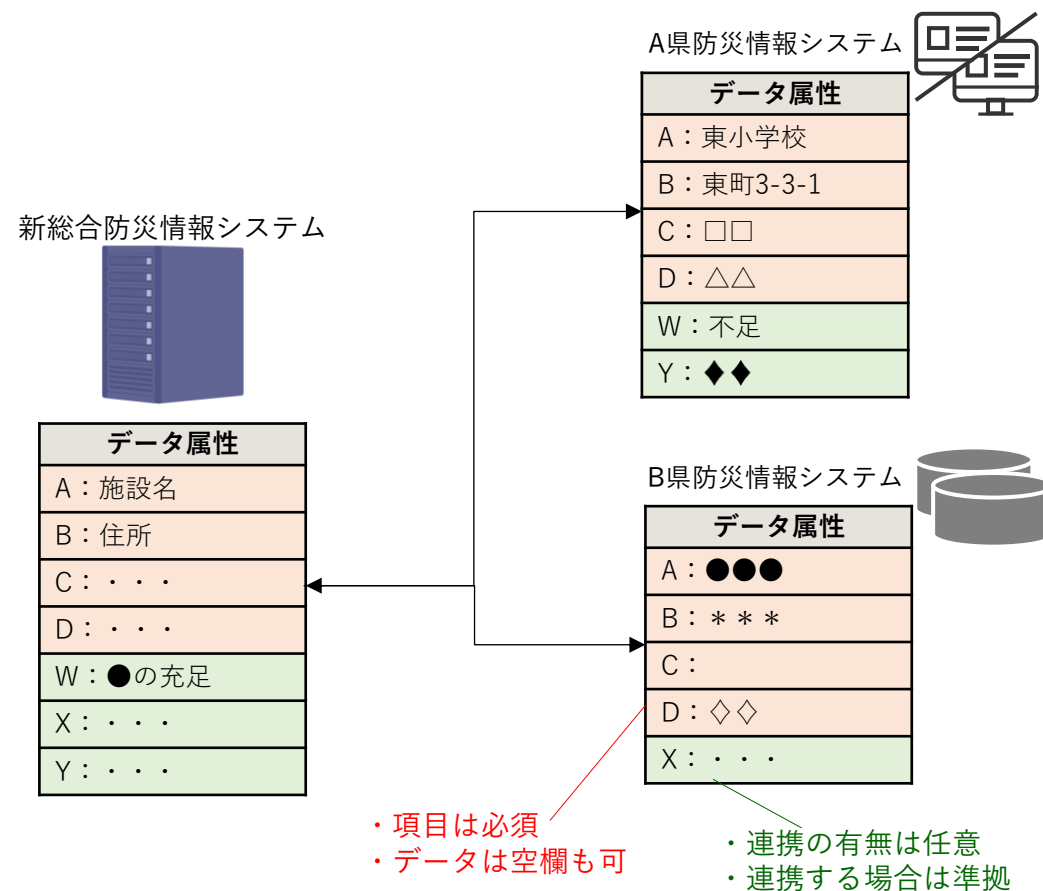
- **基本共有データ属性**：多くの災害対応機関での統一的な情報共有のため、新総合防災情報システムへの基本的な情報収集、配信対象とするデータ属性。システム連携に当たっては、必須の連携データ項目とする。（※発災状況等に応じて、実データ入力等の遅れ等は許容）
- **特定データ属性（仮）**：システム連携時の必須のデータ項目とはしないが、地域事情や災害状況等に応じて新総合防災情報システムとデータ連携する際の参考に、名称・定義等を提示するデータ属性。

No.	情報項目 (分類)	(細分)
18	重要施設	都道府県庁舎
		市区町村庁舎
		警察官署
		消防本部
		その他
19	廃棄物	災害廃棄物仮置場
20	要配慮者施設	介護施設・事業所等
		障害者支援施設等
		児童福祉施設等
21	避難所等	避難所
		避難所開設情報（都道府県別集計）
		避難場所

データ属性
A：施設名
B：住所
C：・・・
D：・・・
W：●の充足
X：・・・
Y：・・・
Z：・・・

基本共有データ属性

特定データ属性（仮）

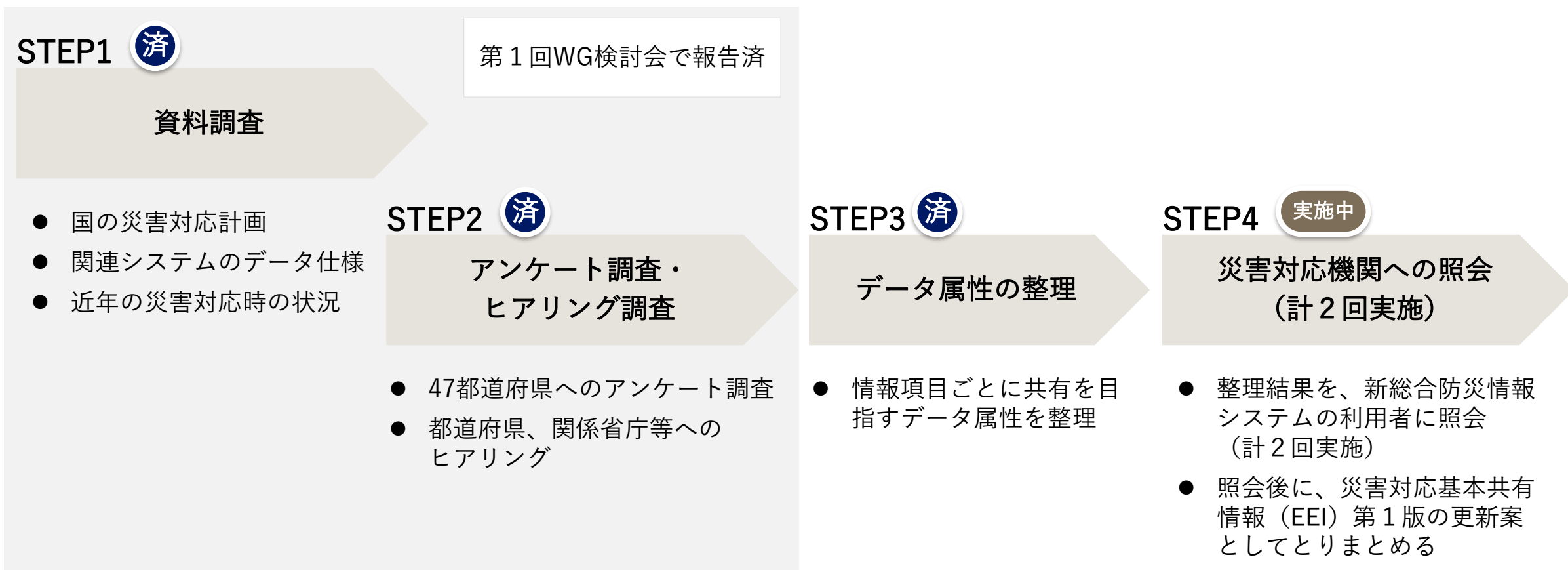


2. 今年度の検討内容

(2) 検討の状況

- データ属性の検討は、過年度までの関係機関への調査に加え、今年度に全都道府県へのアンケート調査（手動を含む収集整理項目など）、関係省庁等へのヒアリング調査、関連システムのデータ仕様書等の資料調査を行い、災害時の情報利用・共有状況等を踏まえて検討した。
- アンケート調査結果等から、情報項目（細分）ごとに共有を目指すデータ属性を整理した後、新総合防災情報システムの利用者への照会を2回実施し、とりまとめを行う予定。（※現在、第2次照会中）

今年度の検討の進め方



3. 今年度の検討結果

(1) データ属性の整理

- 新総合防災情報システムを用いて災害対応機関間で共有することが望ましいデータ属性の整理に際しては、当該データ属性に該当する、既存の複数の関連システム等での表記揺れの整理も行った。
- 新総合防災情報システム利用者への第2次照会に際しては、当該データ属性の同義語等の説明を付している。

データ属性の分類方法

複数の災害対応機関での共有が望ましいデータ属性を整理

データ属性（例）
施設名
所在地（住所）
都道府県コード
．．．
．．．
連絡先
．．．
．．．

複数システム間でのデータ属性名の表記揺れの整理

データ属性（例）	関連システム等		
	システム A	システム B	データベース C
施設名	施設名	施設名	施設名
所在地（住所）	所在地（住所）	所在地（住所）	所在地（住所）
地方公共団体コード	都道府県コード	行政区コード	地方公共団体コード
．．	複数システム間で生じるデータ属性名の表記揺れを統一		．．．
．．			．．．
連絡先			
．．．	．．．	．．．	．．．
．．．	．．．	．．．	．．．

3. 今年度の検討結果

(2) 災害対応機関への照会

- 前項までの検討に基づき整理した、災害対応基本共有情報（EEI）第1版更新原案のデータ属性の設定及び分類について、新総合防災情報システムの主たる利用者を対象に、第1次照会を実施した（1月下旬～2月上旬）。
- 第1次照会への各機関からの意見に基づき、災害対応基本共有情報（EEI）第1版更新案（別添資料）を整理し、第2次照会を実施中。当該照会結果等に基づき、災害対応基本共有情報（EEI）第1版の更新版とする予定。

災害対応基本共有情報（EEI）第1版更新案（抜粋）

No.	情報項目		データ属性（案）			
	（分類）	（細分）	取得時期	データ属性の名称	基本共有データ属性 又は特定データ属性	補足説明
1	被害推計	地震建物被害推計（市区町村毎）	災害時取得	地方公共団体コード	基本共有データ属性	—
				都道府県名	基本共有データ属性	—
				市区町村名	基本共有データ属性	—
				建物全壊棟数推計	基本共有データ属性	—
				建物半壊棟数推計	基本共有データ属性	—
				建物全半壊棟数推計	基本共有データ属性	—
				木造建物全壊棟数推計	基本共有データ属性	—
				非木造建物全壊棟数推計	基本共有データ属性	—

4. 次年度以降の方針

- 今年度、新総合防災情報システムを用いて災害対応機関間で共有することを目指すデータ属性を調査・整理し、災害対応基本共有情報（EEI）第1版を更新する予定。
- 次年度以降、実際のデータ連携を進めるに当たっては、関連する政府全体の動向も考慮しつつ、更新した災害対応基本共有情報（EEI）を新総合防災情報システムにて収集・共有することを目指し、SIP4D-ZIP等の既存規格等にもとづき個別調整を進めていく。
- 今後も必要に応じて、更新した災害対応基本共有情報（EEI）の情報項目、データ属性等の更新を図る。

